

芸術祭がはじまる

大きな可能性をもっているのではないかと考えています。

平成25年
夏号

発行 市原商工会議所
加茂里山通信編集部
発行責任者 榊原義久
編集長 征矢賀造

ちがいい、『晴れたら東原へ』いつと、う気持ちを抱かれるような「かわせりーテミシクヌ」を口唱しておられます。(以上北川リラム氏の講話より)

市原市は「パリ」など異なる「あたたかみある市」で、特にこれといった豊かな特色のある市ではありません。そのためそのままの市も農村部においては少子高齢化・過疎などの日本全般の農村部が抱える問題を持ってします。しかし地域文化・地域としての魅力も実は多く持っています。畠山が残り、ローカルな小湊鉄道が走り、地域のコミュニティがしっかりとされています。日本の原風景とも呼ぶべきものが色々と残っている地域でもあります。この市原にある古いされた日本、古いられた日本人といふことに属するものを磨き直していくことをアート・建築・デザインの力でやいだらへうことが出来ます。

これまで、過疎や少子高齢化という日本の地方都市のイメージを脱する問題をこの市原市で少しでも解消していく事がやりたいとき、そこに多くの人を呼び込むことで、希望の市として発展出来るのはなにかとも思ります。いま地域でおきていることからして活性化の動きなしと運動してやつていけたいと思います。あたりまえの市が持っていて、課題を解決しながらの藝術祭の展開が、実は一番

来年3月22日から始まる「中廣島國際藝術祭」において「アート・メミシクス」の概要発表会が東京で開催されたのが5月29日でした。そして7月3日には加茂公民館で地元説明会が行われました。佐々間市長の挨拶後、今回の芸術祭の総合プロデューサー・北川フラン氏より、どういう考え方で、どんな目的を持ってこの芸術祭を行っていくかという点の説明が行われました。その大まかな内容は以下のようです。

走らぬでなまかひ。」の精神を地域の魅力とみなす様々な資源を活用してます。JIS規格資源を工夫だけ活かして、それに新しい価値を付け加えしていくんだから」とおひつじにいうと思ひます。トーメンシックスの中核理念の一つは40歳後のアーティストです。次の時代を担う青年の作家達は一時的でなく継続して市原に関わってもらいたいから、もういつかはまたつながりへと地域の人たちを巻き込んでつながながら進めていきま。

私は生活・文化・藝術がアートであると考えています。今回は「食と農」、それに「ハーブ園」をキーワードにした「考え方」と「手」。農業・食材・首都圏から一時間の距離、小糸町や市原山があり、養蜂場がある。これからの地域の資源を活用、首都圏のオアシスとして、市原に行ったり来たりして、気持ち

「あははハーメックスクス」はハーメ・建
第・「サイン・その他の文化的なことなどを
金縛りにやるわけですが、そのことが目的で
はありません。市原にとってあることは市原
に住んでいた人、うわけお年寄が番屋を持
つてやつて、これが出来たのがお年寄の日、お年寄
の笑顔が見られる場所となる日、そういう
うことを目指します。そんでなればお年寄が

A black and white photograph of a traditional Japanese flower arrangement (ikebana) featuring lilies and other flowers in a shallow vessel.

（つづく） 良い活動団体が全国に多くある中で、やはり先の加茂・南越の里山会でも課題になりたことがあります。自分たちは何をしてきたのか、どうやって手伝ったのかと考へて、この地域の活動団体も少し想ります。今後とも加茂・南越の町会や各種団体、里山活動団体など、下旬から8月にかけて、直接 説明する機会を設けたいと考えているのです。地域の活動団体が主体となりてサポートしてもらいたいと期待しています。舞舞をすれば長い統ならぬが、舞舞をしながら範囲で参加してもらいたいとのことです。

市原湖畔美術館」と銘えて8月3日にオープンします。この美術館が自指すところはあります。またアート・メッシュの中心的な施設としての役目を担い、アートを通じた地域づくりの中核施設として地域の中の美術館。次に、葛西



—レストランは藤原湯水機の近くに

を生活として、アーティストと一緒に遊び、満足できる魅力がある、それが「美術館」。わざわざ美術館に来て、体験できるの」と結構かが、いう志を見つめ直し、独創性に富んだ企画を開催し、新しい感覚を味わいことの出来の美術館です。

とにかく、本格的な美術館が高瀬にオープンする事になります。佐倉の川村美術館、千葉市のホリ美術館などその收藏作品を運営方法で違うからでも人がやってくるような美術館となつてほしいと思つます。ある人から川村美術館は美ヶ谷にできなくて羨うたつと思いました。そうであつた全国がから人がやつて来ただらつと思いました。湖畔美術館は可能性を秘めた美術館です。定期的な美術館にしてほしいと思います。ちなみに併設されるそれは湖畔のイタリアンレストランは、同じペントのゆみ野店で試食した者が「日本が誇る『あめえ』と謳っていました。これも楽しみです。

(8回目) 要するに、この年は、防災の年でもあります。

欽天の5月26日、昭和村駐場で行われた加茂町選手会では、杉原議の急遽を受けて、参加田舎に被章を付けての大会となりました。盛んな次第です。

優勝 第3分田 月崎・柳川・菅野・石塚 分田長・宗延義
準優勝 第3分田 (久保・外部田・駒込・山口) 分田長・杉

に期待を抱かせました。東北大震災を経て、地震防災の要として注目され、消防団ですが、最近の同員不足は深刻になつてしまふ事。分団長、隊長者が選出せずに団を維持する事も多々なり、訓練時間も少ないうえ、同員だけで準備 ホースまき 片付けと要する姿がありました。

分団統合を経て、今の消防団の形になつて30年近くになります。終戸町ばかりの分団も20名を超える同員で構成されていましたが、今では準滅火団 優勝した8分団は同員数10名とのことです。そんななかでも訓練の姿を見れば、やはり頼もしくなつてきます。頑張れ消防団。

なお、6月16日に雨天の中、防災センターで行われた市原市大会では、東郷町が優勝、準優勝は五井町となり、加茂支団は惜しくも3位賞の成績でした。

加茂は変わるものか

開通した陸路を通じた方が多いと思います。私も陸路を通じた成田や横浜方面へと利用しましたが、成田まではほんの時間、横浜も一時間くらいで行き便利になつたな感じです。これでは本当にちょっと出張街食事でいい感じですが可能です。将来的に東京自動車道から成田までの道が完成され、また磐越自動車道までの道が完成すれば、成田にはまだ、まだ井戸端会話感覚になら、東北自動車道にも都心の達達に寄りとなくスムーズにドライブできることになり、一日の行動範囲は広がります。逆の立場からすれば、都心を横断方面がいるあたりに来るのも簡単にならうと思います。陸路から見る瀬戸内海、瀬戸湖、養殖地区、山口地区的光景は新鮮です。今大和田で工事をしているペーリングエアがどんな姿になって登場するのかわかりませんが、瀬戸内を一周するのはすやすやすです。

昭和村盆踊り大会

恒例の盆踊り大會です。
かき氷・水ヨーヨー・飲食物のサービス
中学生までの子供たちは300円相当のお菓子のプレゼントがあります。

日時 8月10日(土)
18:00~20:30

場所 社会福祉法人 昭和村(万田野32番地)(0)

主催 協賛 万田野会友会

杉田県議を懐んで

杉田県議が5月に急逝されました。市原市の重鎮として、また千葉県政の要として存在感を示してきただけでなく、選舉でも開選してこれから市原の活性化に手腕を發揮していくたくべき時期だけに、残念ながらいません。

地域の行事はいつも一緒に、控え美濃で「おめでた様な笑顔と時折のぞがせる鋭い眼光」まさに多くの有権者や選ばれた政治家者の頑張る企業家としての厳しさを併せ持った、機知深い人間性が感じられる「オヤジさん」と呼ぶたくなる先生で、せつかくの機会で、から県政の話題をひとついで始まる「守衛節」とか、その語り口がもう聞けないと思つて寂しい限りです。

一遺族からは故人の遺志として、市政50周年を迎えた市原市・新しくスタートした加賀園・地域の氏神である萬葉神社の額の寄付がされました。

まさに、地域を愛した杉田県議、感謝の言葉を添えながら、お辞儀をお折り申上げます。

(大曾根千里山通信員)



スーパーの野菜売り場で旬の味と言えば、季節先取りの珍しい食材をさしますが、でもそれは「ハシリ」であって旬ではないです。家は畑で野菜を作っていて、いろんな野菜が産地直送で食卓並びます。最近では茄子が採れていますので毎日茄子料理が夕食に3品ずつ並んだりします。味噌汁、揚げだし、炒め物、おろしのせ、焼茄子コマアス、焼茄子田楽天き、夏野菜カレー、油漬け(とにかく風味)、マーボー茄子、茄子の味噌炒め、ぬな漬け、辛子漬けなどです。

旬の味

す。また、野菜のパワーも野菜がもたらす。魚をたべて食べる魚には高質なたんぱく質、カルシウム、ビタミンやEPAなどの脂質の蓄積を保つ魚油も豊富です。

④負担なく手作りする(無理をしないで練りましょう)

具だくさんの味噌汁にすることで汁が少なくなり、自然に減塩することができます。新鮮野菜をたくさん食べて健康寿命を延ばしたいですね。

(大曾根千里山通信員)



秘蔵の場所に貯まっている野菜を、籠をしょって採りに来ます。葵切りよく洗つてから手で切つて、大鍋で15分位茹です。茹でたときの野菜の上に流水でよく洗います。水分を切り、鍋に入れ、しょうゆ、酒、みちく、唐辛子で煮込みます。

葵芳も味付けもそれを自家仕立てです。出始めの細い茎はあつさで仕上げてさきの香りを楽しめます(飯の友用)。個性的にリツと辛口に仕上げる人(お酒の友用)。お茶は用甘口に仕上げる人。(お湯は水あめや黒砂糖などを加えます。)自分で完成しません。暑い處に處で火を起こし、長い時間をかけて煮ていきます。途中に味を見ながら、最終3日はかかります。そして近所のお母さんたちが集まって各自の味の品評会をするのでありました。

(大曾根千里山通信員)

加賀の保存食

今年の上吉敷谷山のホタル祭りは、期間としては短めの6月初旬の3日間(金・土・日)で行われた。前回までの事を考へて、ホタルにストレスを掛けないように、直接的に光が届かない工夫を行つた。谷地には人が入ることが出来ないよう、ロープを張り巡らせたりもした。初めての方々(小さい子供も含む)は、里山の地形を知らずに迷はしないですね。

ホタルが舞ひ出でる



人と環境が一体となって大切な未来へ

自然環境と人間との調和を目指して



杉田建材株式会社

本社 市原市万田野26 TEL 0436(96)1311
市原支店 市原市惣社1-1-22 TEL 0436(24)0511
南総支店 市原市牛久450-1 TEL 0436(50)0111
URL <http://www.sugita-group.com/>

フィンランドからの理想の住まい、ホンカラグローム
モデルハウス公開中!

断熱効果が高く、身体に優しい家を体感してください。
◆ギャラリースペースお貸します。
絵画・写真・陶芸・手芸等、作品展を開いてみませんか?
開館時間 10:00~17:00

HONKA

www.honka.com

ホンカラ建設 大建工業株式会社 ロクホーム事業部
TEL 0436-95-5641 FAX 0436-95-5642 <http://www.honka-bousou.com>

A 駅出発しないと駄目だが、おまかせとかが一歩出る
ね——」「
B 「あんまりね——い。」おまかせで水がありから
あくびいたな——！
A 「ナ——だな、ち——と蒸水っぽいけどひやうげ
て——やな。」
B 「ナ——わ、おおひね——ナビハシ わ——おひき
けいべた牆の上にまたがったよ！」
A 「ナ——いわ——おおは——おの——おおいが——お牆の
ちまたが——！」

加茂ペラ語



米作りをしていない
小生ではありますが
祈っています。なん
といつても加茂のお
米は美味しいのです
から。

(昭和40年7月3日)
人にはもう春の半ばには
は糞穂を乗らせる一面
の黄金色になつてゐる事。
せめて昨年並みの米
価で取引きができます
ようこそ、またたく

梅雨が明けた途端、一気の夏的到来に面食らひでいい。待っていたがのようにセミが一齊に鳴き出し、萬葉湖の湖面にはオニヤンマが飛んでいます。朝から30度を超える暑さで閉口しています。それでモリの地においては自然の中に涼を求める事ができるのです。なんといっても一番のおすすめスポットは吉原櫻花架の日陰です。車から降りるととくなく行くことができ、体験するのもはじめての場所になつてします。その他、山あいの木陰や、人通りのないトンネルとか外回りする道などでは必ず見はつけてけの場所があつらうからに点在しています。都合のいいことに場所によっては接觸が開闢になりゆっくりとお寛ぎができるのです。細かい説明を必要の方は、連絡お待ちしてます。

さて、今年も半年
が過ぎ青々とした田
まつ翠身づき

加
大
木
工
業
團
體

昭和二十年代 小学生低学年の私 貸休みや冬休みになる
と決まって父親の収入でもある、伯父がやってる舗屋に預け
られました。その頃は四十歳前後のサラリーマンでも東
京二三区内外の家が買えるいい時代だったらしく、父親も無
理して貰ったクチだったと思うです。普通なら親類一家を離れ
て親戚に泊まるというのが寂しい年頃なのでしょうが、私は

市場並んでいました。鱈以外にも白身魚や甘海老
にさし生等々数え上げればきがなく、刺身で食べられる魚が増えて今は、お皿の上をすくい多様化になっています。
お蕪と帰省した人々の樂しげな声、西瓜の匂いや花火の音
が聞えて来ると、年齢がもつすぐ始まると思つて気持ちも自然
に弾んで来る良い毎日がりでした。

魚屋の戯言

魚屋と名乗つてはいるものの、果物や肉や牛乳、おまけにジースまで売つていたので、自分の家にいる上りも選がに食生活が充実するのでそれが何よりの楽しみだったのです。住宅ローンを抱えていたのであります。我が家では、眞の飲食物と言えば水が薬草が当たり前。良くて渡辺のジースの薬が精一杯。瓶入りの三毛牛イターやベヤリースなんかクリスマスが誕生日くらいにしが出て、なかつたのに、二度も治癒院に山ほどあるんですねから嬉しいないです。すみません。七歳が八歳の子供は迷惑なんだなと薬草は知らないのでほぼ飲み放題です。夜なれば伯父がやつてた山仕事の若く、人達が帰つてきて、連夜の酒盛り。伯父の隣に座つて刺身や肉などをひだら口へ運んで作業を重ねていました。

まだ各家庭に電気や扇風機が普及する前でしたが、店には薬務用の大剣差藏庫と冷蔵室ヨーケースが一百つつあって近所の人たちが薬庫に入つた薬草や丸の西瓜を悪いけど大方まで入れさせてくれない?などと云いながら持つて来たり、若い人のためのビールはジース」と冷てるという。思えば少々不思議な光景を鮮明に覚えていきます。

研修旅行 福島へ

加茂地区カラオケ大会

5月1日(土) 今回で第25回となる加茂地区カラオケ大賽「スナックまいづる」に開催されました。100人近くの観客が会場を訪れ、29人の出場者の熱唱に聞き入っていました。

上校會は次の方々です。

左側は、

必觀光 約い絶好調！

0436-98-1277

編集後記

・6月4日の読売新聞「加茂喜山連載」が10周年を迎えたことが記念として載りました。取材にこなした記者に、懐かしい連絡を貰うのが何より嬉しいです。

・先のオールカラーの黒山連合はいかがだったでしょうか？
またまた載せきれない、桜・菜の花の名前があります。来年
はアート×ミックスの開催と重なります。多くの人にこの加
茂の桜・菜の花を見ていただきたいと思います。黒山連合の
会も今年の失敗を繰り返さないよう、準備を進めていきます。
やつて來た人を感動させるくらいの花を咲かせてみたいもの
です。

房総・養老渓谷の
地酒や土産は
養老渓谷駅前
角屋商店
養老渓谷観光協会窓口
市原市朝生原181
TEL 0436-96-1108
FAX 0436-96-0052